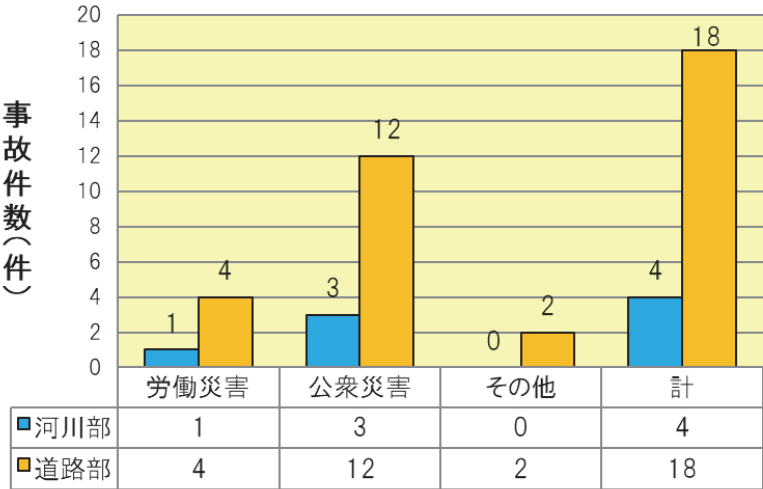


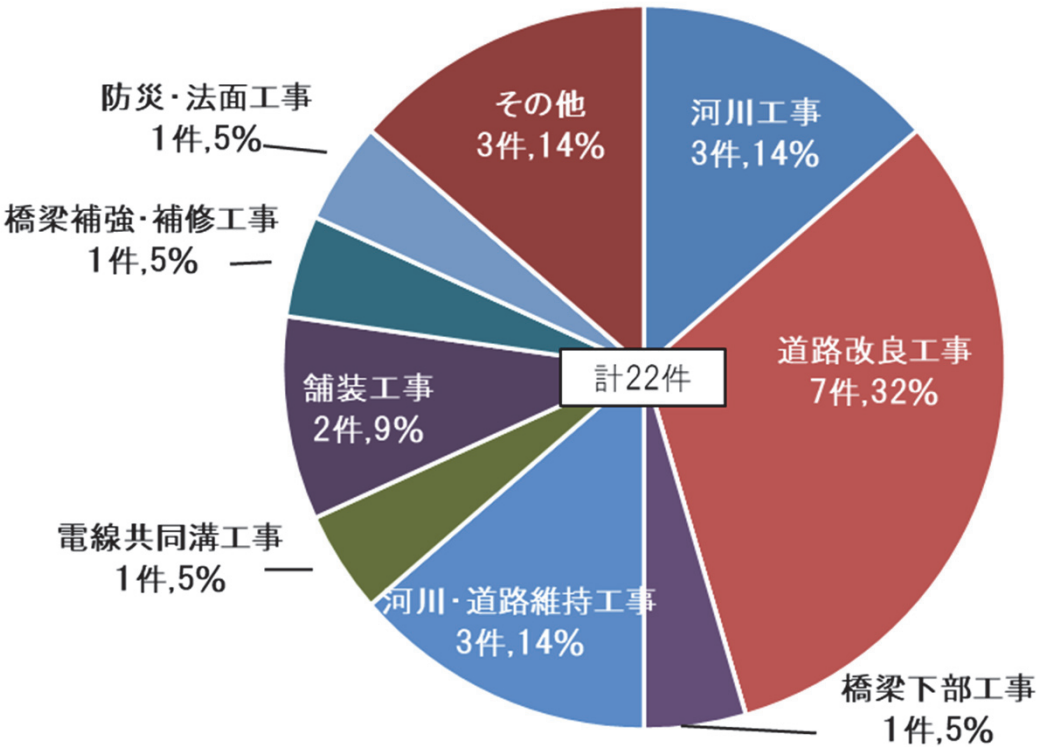
- 令和7年度の直轄工事における事故の措置件数は22件。河川部4件、道路部18件の措置状況。
- 労働災害は5件（死亡事故は0件）、公衆災害が15件発生。
- 工事種別では、道路改良工事（7件）、河川工事（3件）、河川・道路維持工事（河川1件、道路2件）、舗装工事（2件）、橋梁下部工事（1件）、電線共同溝工事（1件）、橋梁補強・補修工事（1件）、防災・法面工事（1件）で複数の工種で発生。

事故発生件数		労働災害	公衆災害	その他
河川部	4件	1件	3件	0件
道路部	18件	4件	12件	2件
合 計	22件	5件	15件	2件
(100%)		(23%)	(68%)	(9%)

R7年度 事故発生状況



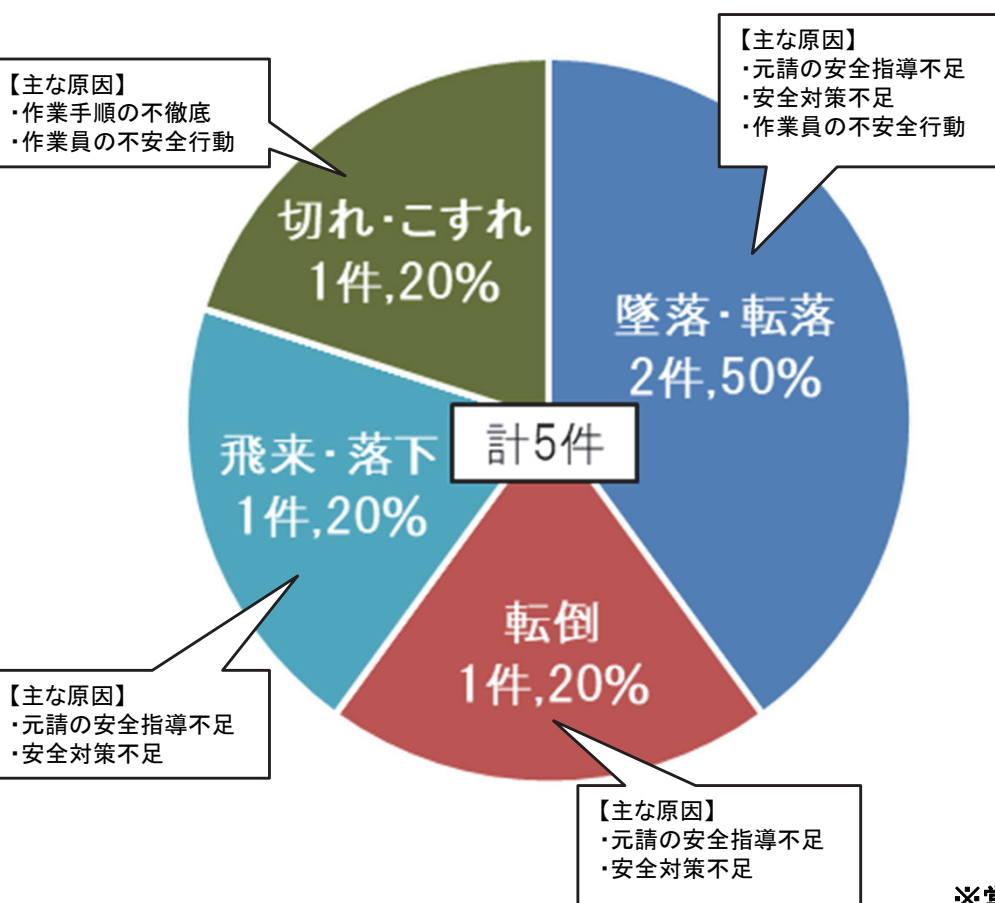
工事種別毎の内訳(種別、件数、割合)



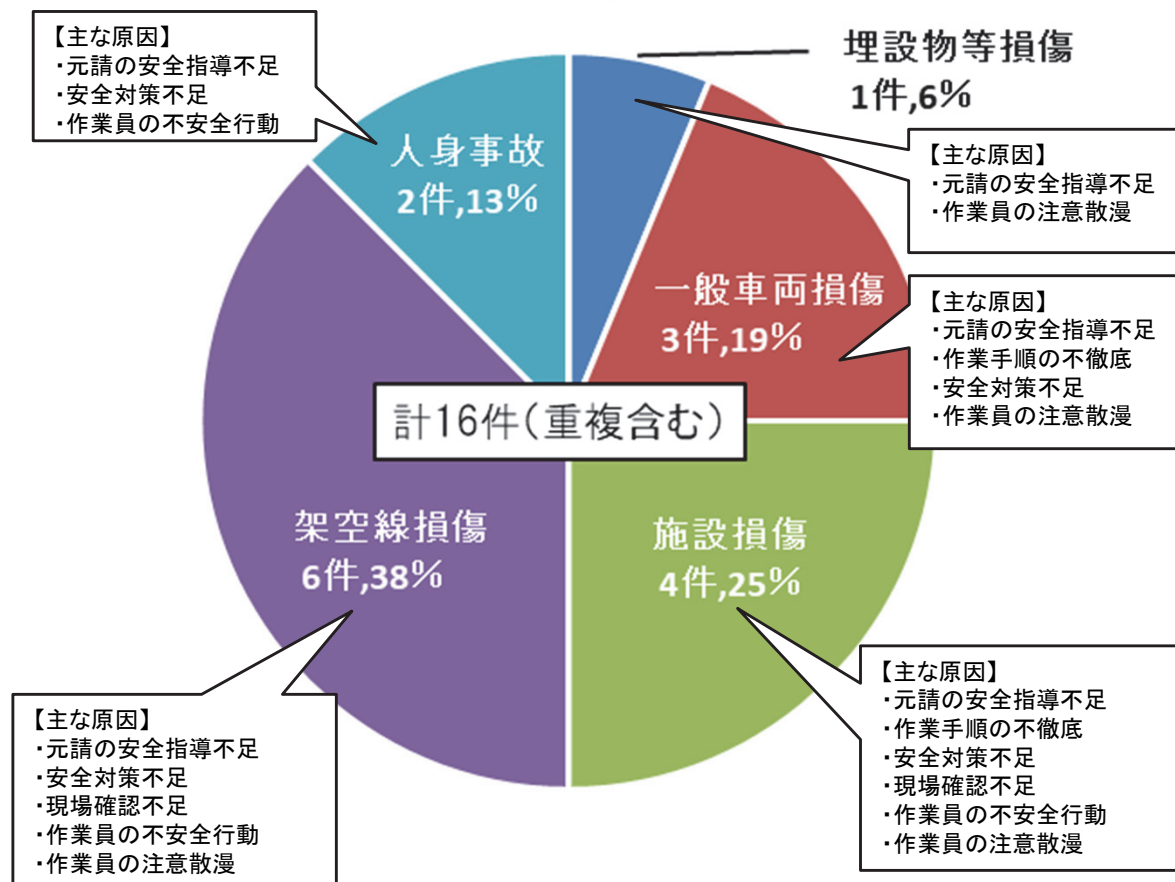
※営繕部、港湾空港部を除く工事事故で、
元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

○労働災害は「墜落・転落」が2件、「転倒」、「飛来・落下」、「切れ・こすれ」が各1件発生している状況である。
○公衆災害は「架空線損傷」が6件、「施設損傷」が4件、「一般車両損傷」が3件、「人身事故」が2件、「埋設物等損傷」が1件発生している状況である。

労働災害の内訳(種別・件数・割合)



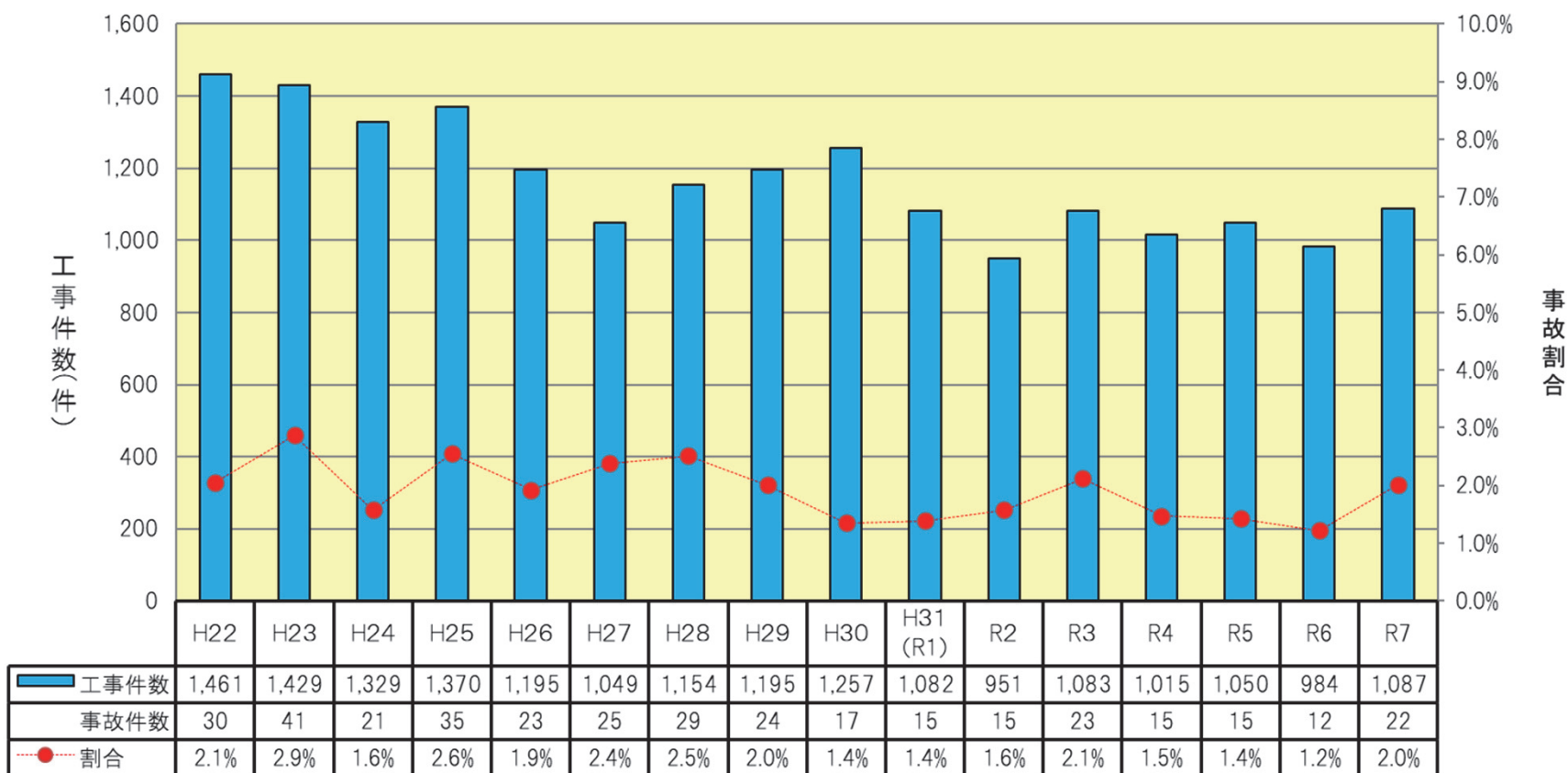
公衆災害の内訳(種別・件数・割合)



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 令和7年度の工事件数に占める措置を行った事故件数の割合は2.0%で、令和6年度より増加。事故件数は昨年度より増加。
- 事故の件数は、平成28年度から減少傾向となっていたが、令和3年度は再び増加したが令和4年度、5年度、6年度は減少し、令和7年度は再び増加。

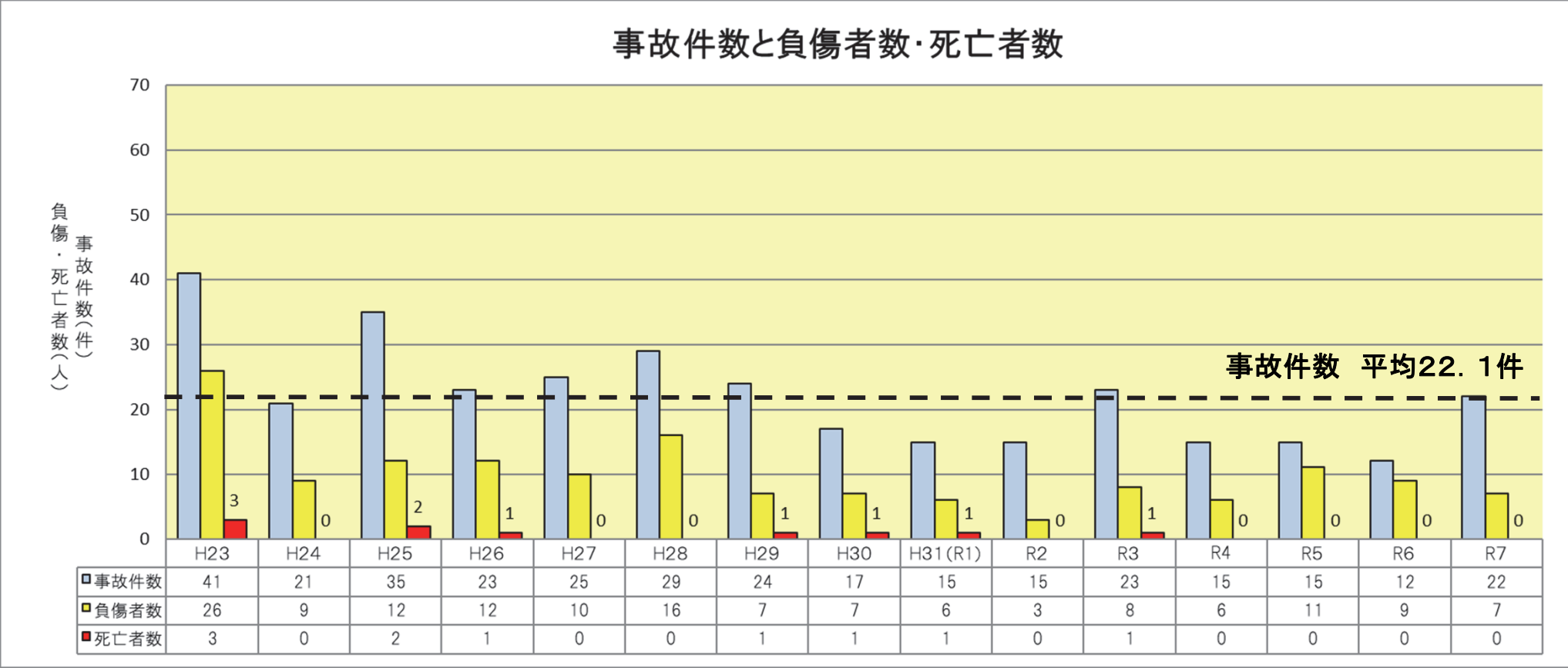
工事件数と事故件数の推移



注1: 工事件数は対象年度に工期に係る件数。(過年度発注工事を含む。) 注2: 発生率は発生件数を工事件数で除した値。

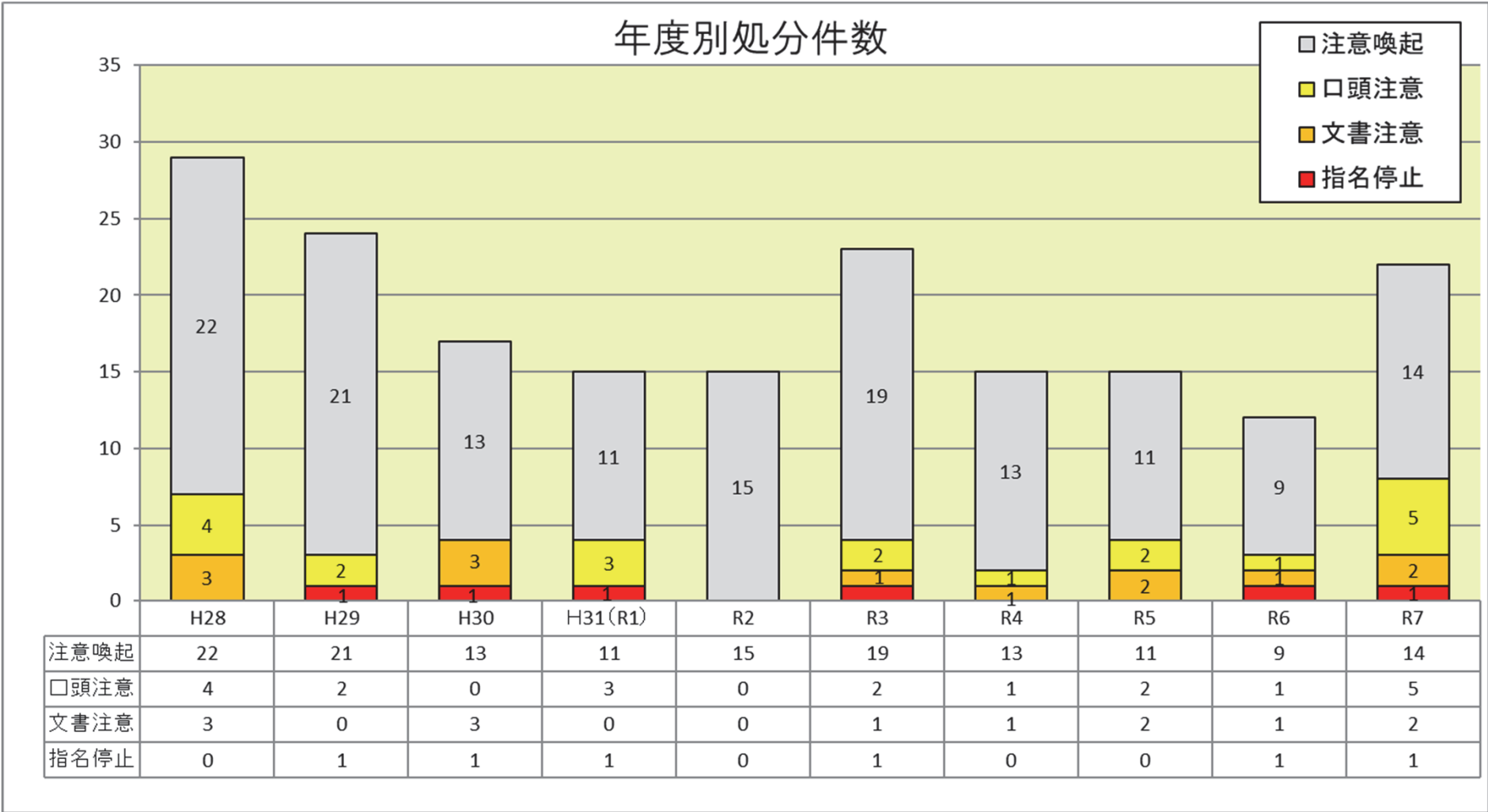
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去15年間(H23～R7)の措置を行った事故件数は平均で22.1件の発生状況となっている。
- 事故件数は平成23年度をピークに減少傾向。
- 負傷者は平成29年度以降一桁台で推移していたが、R5で再び二桁となったがR6で一桁台となった。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

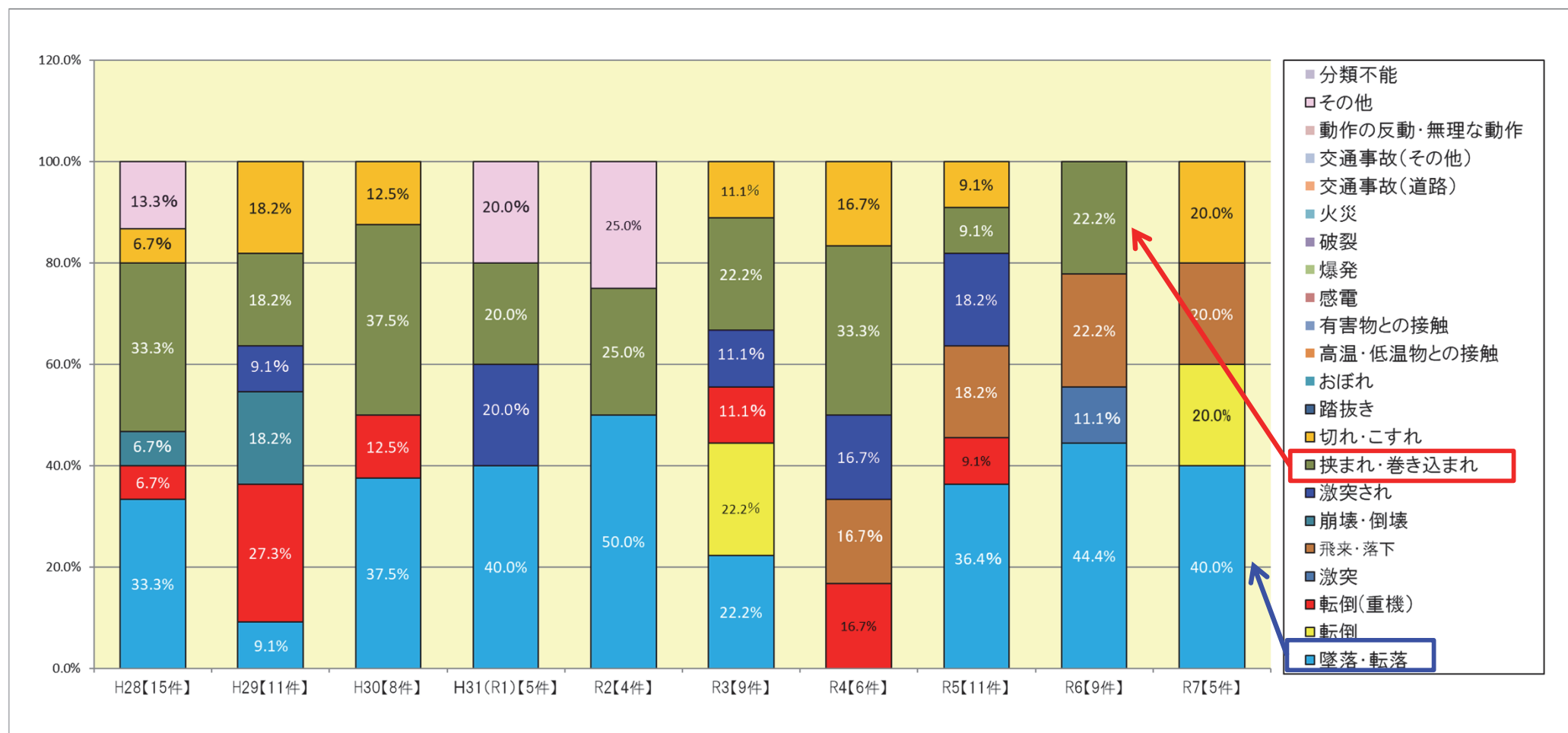
○令和7年度の事故後の措置は「注意喚起」が14件、「口頭注意」が5件、「文書注意」が2件、「指名停止」が1件。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの
※指名停止の1件は令和元年に発生した工事で令和3年度に措置が確定したもの。
※指名停止の1件は令和6年度に発生した工事で令和7年度に措置が確定したもの。

○「挟まれ・巻き込まれ」、「墜落・転落」の事故は、過去10年間で令和7年度は「挟まれ・巻き込まれ」、令和4年度は「墜落・転落」の事故が発生していないが、それ以外の年度は毎年発生しており、多い傾向にある。

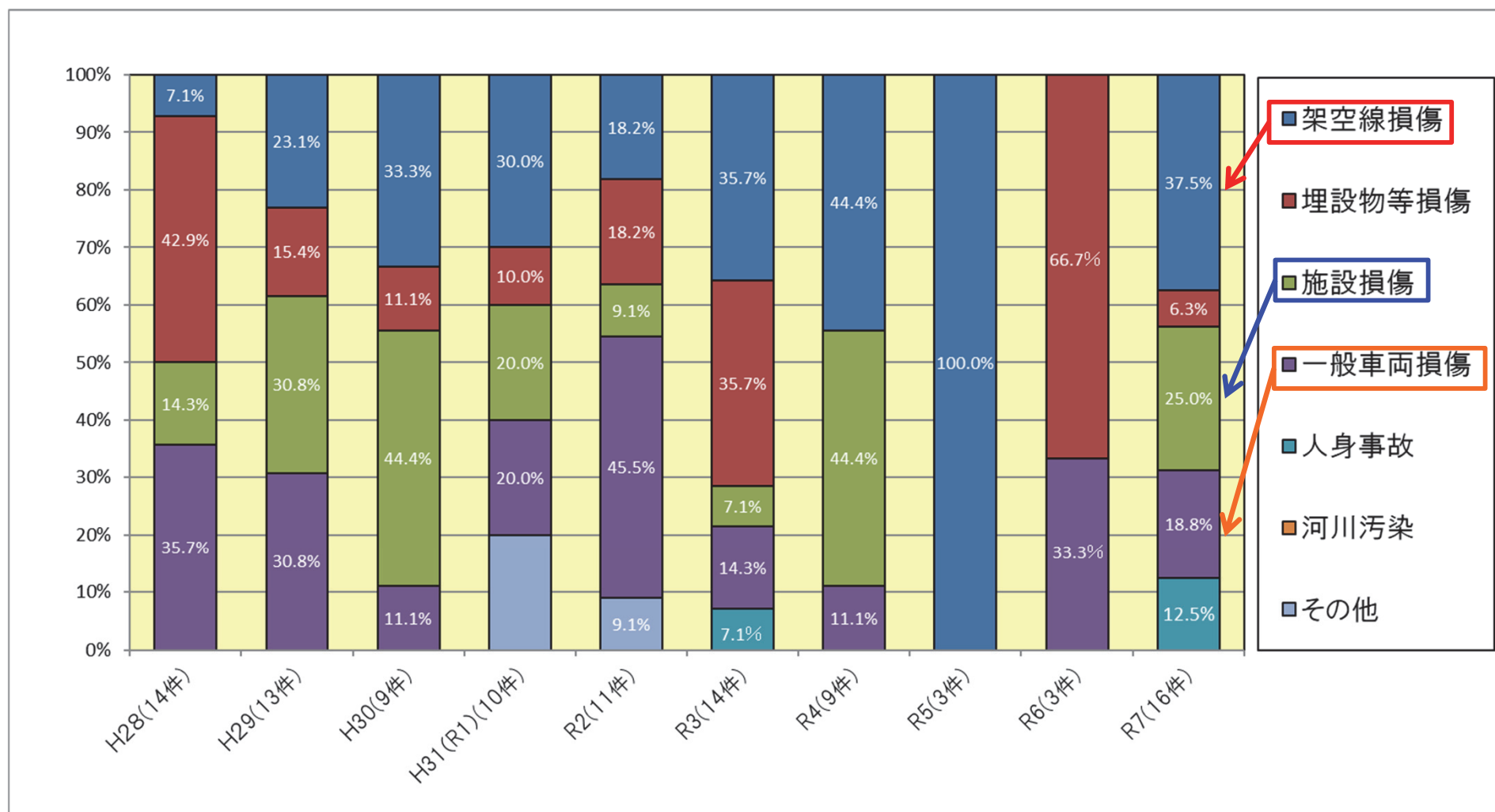
工事関係者事故(労働災害)の内訳



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

○令和7年度は、約80%が「架空線損傷」、「施設損傷」、「一般車両損傷」の事故となっている。

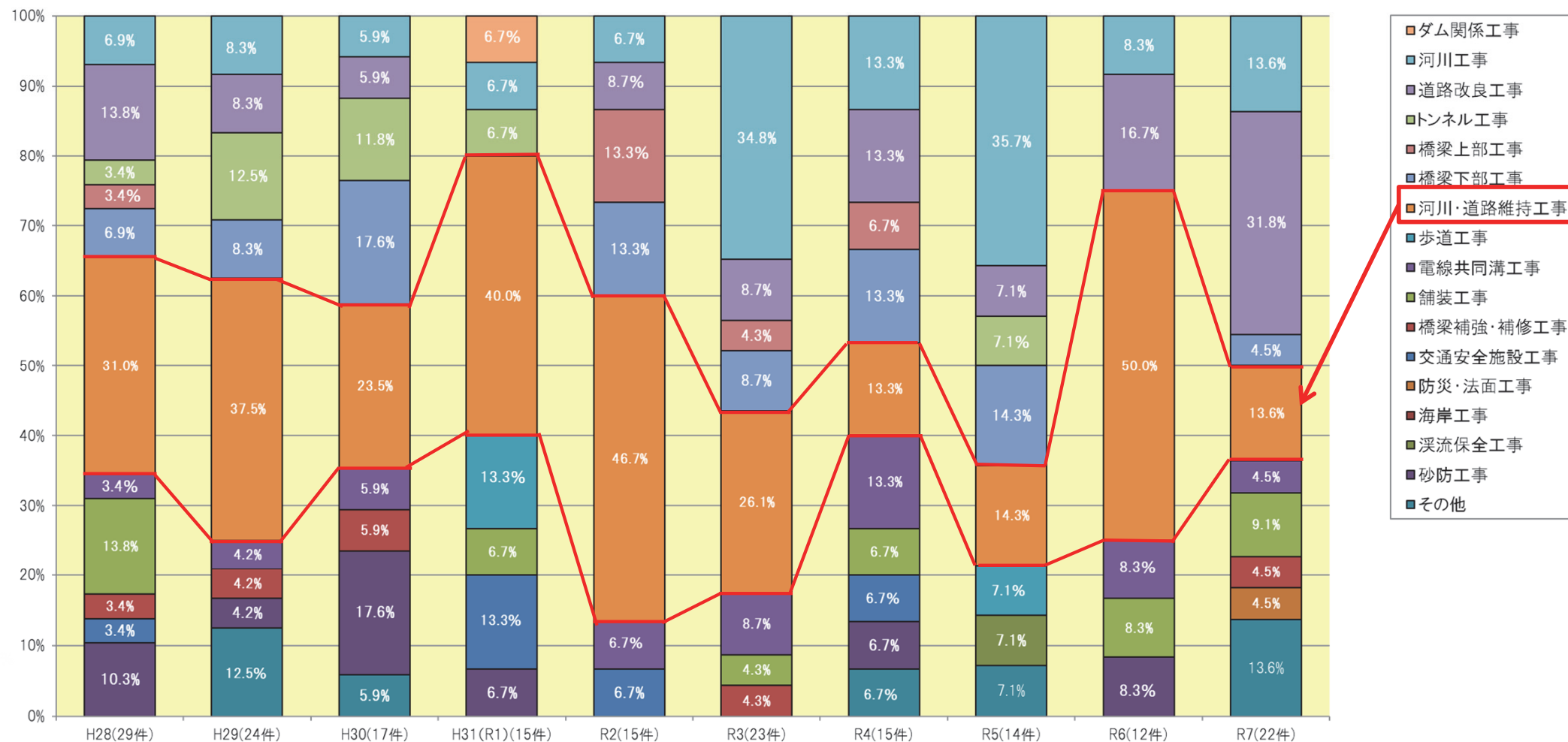
公衆損害事故(公衆災害)の内訳



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

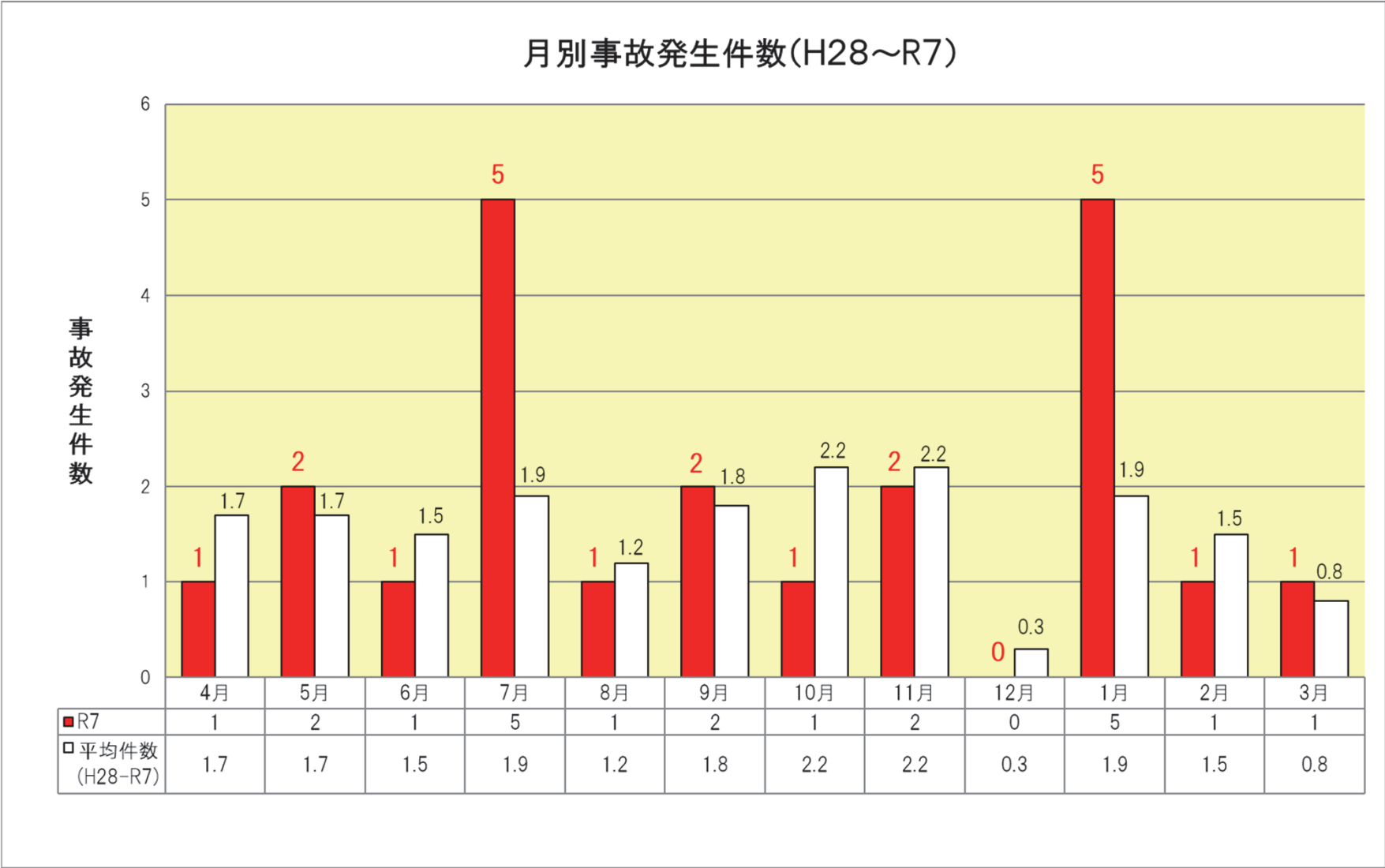
○毎年、現場が広範囲であり緊急作業を伴う「河川・道路維持工事」での事故が多い傾向にあるがR4,R5は減少傾向であったが、R6では増加し、R7で再び減少している。

事故における工事内容の内訳



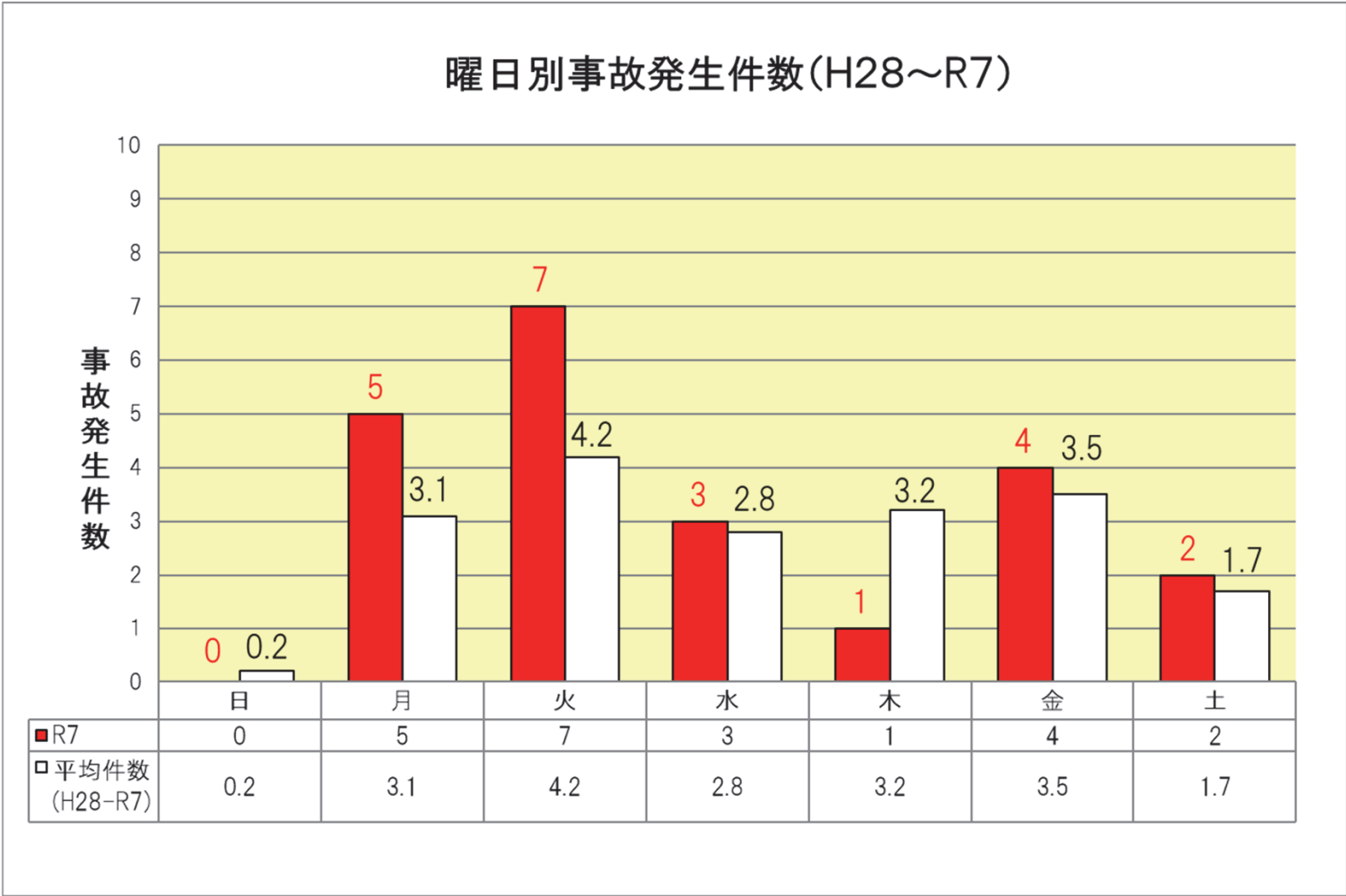
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

○過去10年間(H28～R7)の平均では、10,11月の2.2件をピークとして事故が毎月発生している。
○令和7年度は、7, 1月に多く発生。発生件数ゼロは、10月のみとなっている。



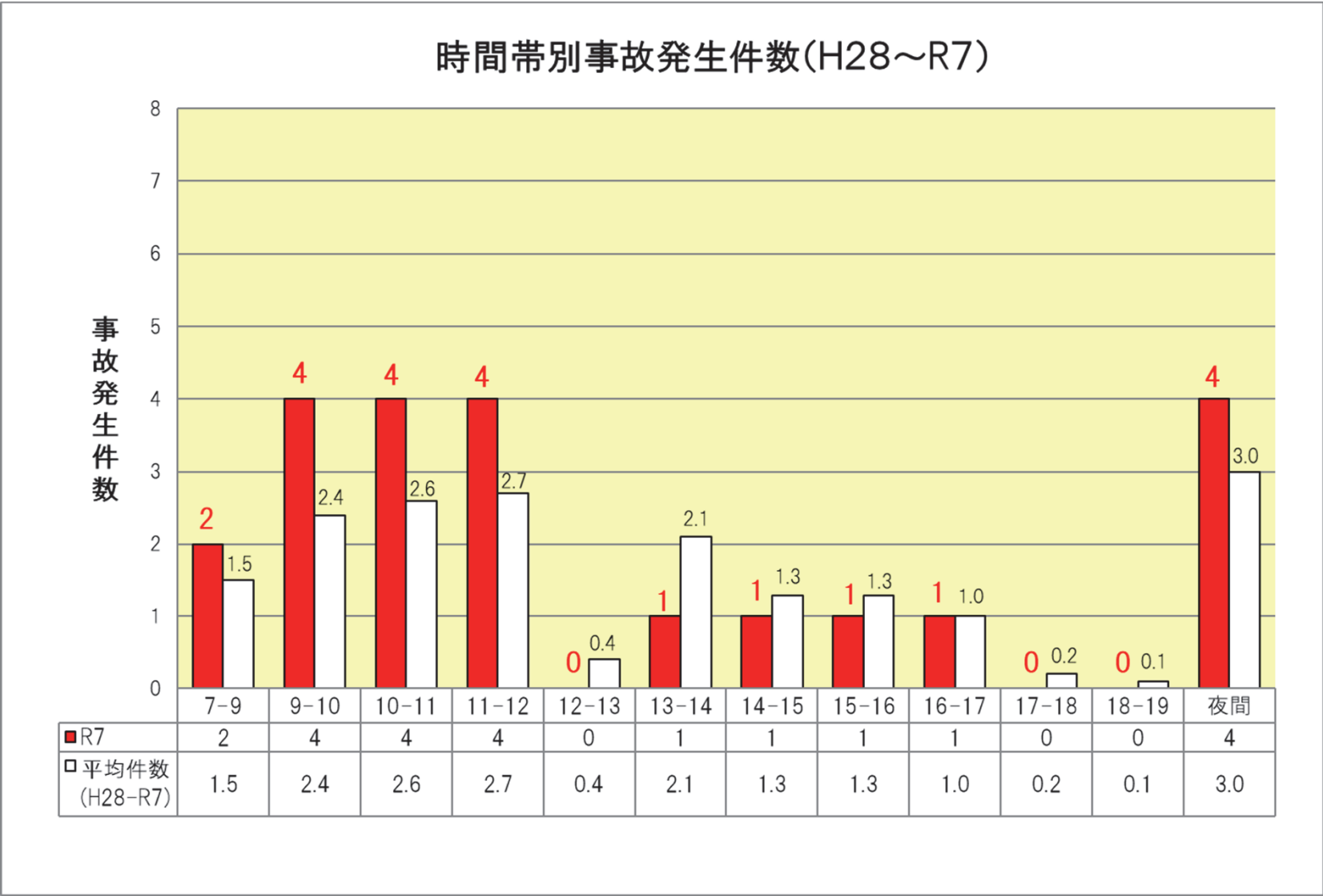
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去10年間の平均では、平日は曜日に関係なく3～4件程度の事故が発生している。
- 令和7年度は、火曜日が最も多く、次いで月曜日に多く発生している。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事務で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去10年間の平均では、午前9時から12時までの時間帯での発生が多く、夜間の発生も多い傾向である。
- 令和7年度も同じ傾向で、午前9時から12時までの時間帯及び、夜間に事故が多く発生している。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの